

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年5月18日
【四半期会計期間】	第65期第3四半期(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)
【会社名】	大都魚類株式会社
【英訳名】	DAITO GYORUI CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 加茂秀樹
【本店の所在の場所】	東京都中央区築地5丁目2番1号
【電話番号】	東京(03)5565-8114
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 宮澤 栄三
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区築地5丁目2番1号
【電話番号】	東京(03)5565-8114
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 宮澤 栄三
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は適格年金制度による退職給付制度を採用していましたが、平成23年10月1日付で適格年金制度を廃止し、退職給付制度の一部を確定拠出年金制度へ移行しました。今般、平成24年3月期決算において制度変更後の退職給付引当金等を計上するにあたり、平成24年3月期第3四半期計上の「退職給付制度改定損367百万円」をはじめ退職給付に関する会計数値の見積もり計上額に間違いがあるとの指摘をあずさ監査法人より受けました。

当社の会計監査人は平成19年3月期までは新日本監査法人、その後あずさ監査法人に交代しておりますが、当社としては各決算において監査法人の監査を受けた上で適正である旨の監査報告書も受領しており、過年度の会計処理に誤りがあるとは認識しておりませんでした。

平成24年3月期期末決算にあたり社外専門家を交えて過年度の処理を検討した結果、子会社の吸収合併時の会計処理等により未認識退職給付債務の金額とその償却金額に適切な金額との差異が生じたため、退職給付引当金が不足している状態であると認識しました。あずさ監査法人と協議を重ねた上で、その不足額につき過年度訂正報告が必要との判断に至り、平成23年2月7日に提出した第65期第3四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、あずさ監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表にかかる訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

5 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1)業績の状況

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1)四半期連結貸借対照表

(2)四半期連結損益計算書

(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

(セグメント情報等)

事業の種類別セグメント情報

セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第64期 第3四半期連結 累計期間	第65期 第3四半期連結 累計期間	第64期 第3四半期連結 会計期間	第65期 第3四半期連結 会計期間	第64期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(百万円)	112,948	111,845	41,068	41,385	148,692
経常利益(百万円)	254	193	242	275	226
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()(百万円)	186	133	146	218	122
純資産額(百万円)	-	-	12,425	12,069	12,386
総資産額(百万円)	-	-	38,402	37,109	35,360
1株当たり純資産額(円)	-	-	389.79	378.40	388.55
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	5.91	4.23	4.63	6.94	3.89
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	32.0	32.1	34.6
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	2,056	8	-	-	955
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	895	713	-	-	1
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	2,131	545	-	-	1,560
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	2,521	2,697	3,948
従業員数(名)	-	-	336	339	332

~注略~

(訂正後)

回次	第64期 第3四半期連結 累計期間	第65期 第3四半期連結 累計期間	第64期 第3四半期連結 会計期間	第65期 第3四半期連結 会計期間	第64期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(百万円)	112,948	111,845	41,068	41,385	148,692
経常利益(百万円)	204	125	225	253	159
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()(百万円)	156	158	134	220	83
純資産額(百万円)	-	-	12,181	11,790	12,132
総資産額(百万円)	-	-	38,549	37,326	35,534
1株当たり純資産額(円)	-	-	382.03	369.53	380.48
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	4.97	5.03	4.27	7.00	2.64
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	31.2	31.2	33.7
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	2,056	8	-	-	955
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	895	713	-	-	1
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	2,131	545	-	-	1,560
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	2,521	2,697	3,948
従業員数(名)	-	-	336	339	332

~ 注略 ~

第2【事業の状況】

5【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間における水産物卸売業界の状況として、東京都中央卸売市場における水産物の取扱状況をみますと、前年同期に比べ数量は減少しましたが、単価が上昇し、その結果、取扱金額は増加するという状況でありました。

このような状況下で、売上高は41,385百万円と前第3四半期連結会計期間に比べ(以下同じ)0.8%の増収になりました。収益面では、売上高は増加しましたが売上総利益率が低下したことから、売上総利益は2,177百万円(1.9%減)、販売費及び一般管理費は節減に努め2.4%減少の1,912百万円となり、営業利益は265百万円(2.5%増)となりました。この結果、経常利益は275百万円(13.9%増)、四半期純利益は218百万円(49.7%増)となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

水産物卸売

消費の落ち込みと単価安の影響で売上高は37,588百万円(1.5%減)となりましたが、販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は192百万円(9.0%増)と増益になりました。

～後略～

(訂正後)

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間における水産物卸売業界の状況として、東京都中央卸売市場における水産物の取扱状況をみますと、前年同期に比べ数量は減少しましたが、単価が上昇し、その結果、取扱金額は増加するという状況でありました。

このような状況下で、売上高は41,385百万円と前第3四半期連結会計期間に比べ(以下同じ)0.8%の増収になりました。収益面では、売上高は増加しましたが売上総利益率が低下したことから、売上総利益は2,177百万円(1.9%減)、販売費及び一般管理費は節減に努め2.1%減少の1,934百万円となり、営業利益は242百万円(0.1%増)となりました。この結果、経常利益は253百万円(12.2%増)、四半期純利益は220百万円(63.9%増)となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

水産物卸売

消費の落ち込みと単価安の影響で売上高は37,588百万円(1.5%減)となりましたが、販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は169百万円(6.1%増)と増益になりました。

～後略～

第5【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,697	3,948
受取手形及び売掛金	14,738	11,012
商品及び製品	11,145	12,776
原材料及び貯蔵品	318	75
その他	<u>1,908</u>	907
貸倒引当金	476	485
流動資産合計	<u>30,332</u>	<u>28,235</u>
固定資産		
有形固定資産	4,882	4,918
無形固定資産	167	182
投資その他の資産	<u>1,727</u>	<u>2,024</u>
固定資産合計	<u>6,777</u>	<u>7,125</u>
資産合計	<u>37,109</u>	<u>35,360</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,569	4,727
短期借入金	14,490	14,850
未払法人税等	21	15
賞与引当金	5	17
その他	985	1,345
流動負債合計	<u>23,071</u>	<u>20,955</u>
固定負債		
退職給付引当金	<u>843</u>	<u>832</u>
その他	1,125	1,186
固定負債合計	<u>1,968</u>	<u>2,018</u>
負債合計	<u>25,039</u>	<u>22,974</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,628	2,628
資本剰余金	1,628	1,628
利益剰余金	<u>7,553</u>	<u>7,844</u>
自己株式	22	22
株主資本合計	<u>11,787</u>	<u>12,078</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	130	160
評価・換算差額等合計	<u>130</u>	<u>160</u>
少数株主持分	150	146
純資産合計	<u>12,069</u>	<u>12,386</u>
負債純資産合計	<u>37,109</u>	<u>35,360</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,697	3,948
受取手形及び売掛金	14,738	11,012
商品及び製品	11,145	12,776
原材料及び貯蔵品	318	75
その他	<u>1,951</u>	907
貸倒引当金	476	485
流動資産合計	<u>30,375</u>	<u>28,235</u>
固定資産		
有形固定資産	4,882	4,918
無形固定資産	167	182
投資その他の資産	<u>1,901</u>	<u>2,199</u>
固定資産合計	<u>6,951</u>	<u>7,299</u>
資産合計	<u>37,326</u>	<u>35,534</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,569	4,727
短期借入金	14,490	14,850
未払法人税等	21	15
賞与引当金	5	17
その他	985	1,345
流動負債合計	<u>23,071</u>	<u>20,955</u>
固定負債		
退職給付引当金	<u>1,339</u>	<u>1,260</u>
その他	1,125	1,186
固定負債合計	<u>2,465</u>	<u>2,446</u>
負債合計	<u>25,536</u>	<u>23,402</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,628	2,628
資本剰余金	1,628	1,628
利益剰余金	<u>7,274</u>	<u>7,590</u>
自己株式	22	22
株主資本合計	<u>11,508</u>	<u>11,824</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	130	160
評価・換算差額等合計	<u>130</u>	<u>160</u>
少数株主持分	150	146
純資産合計	<u>11,790</u>	<u>12,132</u>
負債純資産合計	<u>37,326</u>	<u>35,534</u>

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	112,948	111,845
売上原価	106,840	105,968
売上総利益	6,108	5,877
販売費及び一般管理費	5,827	5,693
営業利益	280	184
営業外収益		
受取利息	12	24
受取配当金	20	21
その他	23	23
営業外収益合計	56	69
営業外費用		
支払利息	81	60
その他	1	0
営業外費用合計	82	60
経常利益	254	193
特別利益		
貸倒引当金戻入額	54	94
その他	0	-
特別利益合計	54	94
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	451
役員退職慰労金	-	25
ゴルフ会員権評価損	1	-
固定資産売却損	0	0
その他	1	17
特別損失合計	3	494
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	305	206
法人税等	105	79
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	126
少数株主利益	13	6
四半期純利益又は四半期純損失()	186	133

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	112,948	111,845
売上原価	106,840	105,968
売上総利益	6,108	5,877
販売費及び一般管理費	5,877	5,761
営業利益	230	115
営業外収益		
受取利息	12	24
受取配当金	20	21
その他	23	23
営業外収益合計	56	69
営業外費用		
支払利息	81	60
その他	1	0
営業外費用合計	82	60
経常利益	204	125
特別利益		
貸倒引当金戻入額	54	94
その他	0	-
特別利益合計	54	94
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	451
役員退職慰労金	-	25
ゴルフ会員権評価損	1	-
固定資産売却損	0	0
その他	1	17
特別損失合計	3	494
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	255	274
法人税等	85	122
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	152
少数株主利益	13	6
四半期純利益又は四半期純損失()	156	158

【第3四半期連結会計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	41,068	41,385
売上原価	38,850	39,208
売上総利益	2,218	2,177
販売費及び一般管理費	1,959	1,912
営業利益	258	265
営業外収益		
受取利息	3	13
受取配当金	3	3
その他	3	13
営業外収益合計	10	30
営業外費用		
支払利息	26	19
その他	0	0
営業外費用合計	26	19
経常利益	242	275
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	54
特別利益合計	0	54
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	1	-
固定資産除却損	-	1
その他	0	-
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	238	328
法人税等	91	103
少数株主損益調整前四半期純利益	-	225
少数株主利益	1	6
四半期純利益	146	218

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	41,068	41,385
売上原価	38,850	39,208
売上総利益	2,218	2,177
販売費及び一般管理費	1,976	1,934
営業利益	242	242
営業外収益		
受取利息	3	13
受取配当金	3	3
その他	3	13
営業外収益合計	10	30
営業外費用		
支払利息	26	19
その他	0	0
営業外費用合計	26	19
経常利益	225	253
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	54
特別利益合計	0	54
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	1	-
固定資産除却損	-	1
その他	0	-
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	222	306
法人税等	86	79
少数株主損益調整前四半期純利益	-	227
少数株主利益	1	6
四半期純利益	134	220

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
 (訂正前)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	305	206
減価償却費	138	162
貸倒引当金の増減額(は減少)	54	357
受取利息及び受取配当金	32	46
支払利息	81	60
売上債権の増減額(は増加)	3,163	3,826
たな卸資産の増減額(は増加)	2,261	1,388
仕入債務の増減額(は減少)	2,385	2,842
その他	512	714
小計	2,088	16
利息及び配当金の受取額	32	46
利息の支払額	81	60
法人税等の支払額	62	14
法人税等の還付額	143	19
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,056	8
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	1	8
有形及び無形固定資産の取得による支出	88	127
有形及び無形固定資産の売却による収入	1	0
短期貸付金の増減額(は増加)	807	579
その他	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	895	713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	2,300	360
配当金の支払額	157	157
その他	10	28
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,131	545
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	820	1,251
現金及び現金同等物の期首残高	3,341	3,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,521	2,697

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	255	274
減価償却費	138	162
貸倒引当金の増減額(は減少)	54	357
受取利息及び受取配当金	32	46
支払利息	81	60
売上債権の増減額(は増加)	3,163	3,826
たな卸資産の増減額(は増加)	2,261	1,388
仕入債務の増減額(は減少)	2,385	2,842
その他	562	646
小計	2,088	16
利息及び配当金の受取額	32	46
利息の支払額	81	60
法人税等の支払額	62	14
法人税等の還付額	143	19
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,056	8
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	1	8
有形及び無形固定資産の取得による支出	88	127
有形及び無形固定資産の売却による収入	1	0
短期貸付金の増減額(は増加)	807	579
その他	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	895	713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	2,300	360
配当金の支払額	157	157
その他	10	28
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,131	545
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	820	1,251
現金及び現金同等物の期首残高	3,341	3,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,521	2,697

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。
百万円	百万円
販売諸掛 382	販売諸掛 463
保管料及び運搬費 1,491	保管料及び運搬費 1,275
市場使用料 350	市場使用料 351
完納・出荷奨励金 288	完納・出荷奨励金 221
給料及び賞与 1,814	給料及び賞与 1,831
賞与引当金繰入額 6	賞与引当金繰入額 5
退職給付費用 <u>100</u>	退職給付費用 <u>127</u>
減価償却費 50	減価償却費 74

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。
百万円	百万円
販売諸掛 133	販売諸掛 152
保管料及び運搬費 522	保管料及び運搬費 434
市場使用料 124	市場使用料 125
完納・出荷奨励金 103	完納・出荷奨励金 79
給料及び賞与 664	給料及び賞与 678
賞与引当金繰入額 61	賞与引当金繰入額 63
退職給付費用 <u>16</u>	退職給付費用 <u>42</u>
減価償却費 17	減価償却費 25

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。
百万円	百万円
販売諸掛 382	販売諸掛 463
保管料及び運搬費 1,491	保管料及び運搬費 1,275
市場使用料 350	市場使用料 351
完納・出荷奨励金 288	完納・出荷奨励金 221
給料及び賞与 1,814	給料及び賞与 1,831
賞与引当金繰入額 6	賞与引当金繰入額 5
退職給付費用 <u>150</u>	退職給付費用 <u>195</u>
減価償却費 50	減価償却費 74

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は 次のとおりであります。
百万円	百万円
販売諸掛 133	販売諸掛 152
保管料及び運搬費 522	保管料及び運搬費 434
市場使用料 124	市場使用料 125
完納・出荷奨励金 103	完納・出荷奨励金 79
給料及び賞与 664	給料及び賞与 678
賞与引当金繰入額 61	賞与引当金繰入額 63
退職給付費用 <u>32</u>	退職給付費用 <u>65</u>
減価償却費 17	減価償却費 25

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

(訂正前)

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

科目	水産物卸売業 (百万円)	不動産賃貸業 (百万円)	水産物その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	38,168	74	2,826	41,068	-	41,068
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	631	3	708	1,344	(1,344)	-
計	38,800	78	3,534	42,413	(1,344)	41,068
営業利益	176	30	51	258	-	258

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

科目	水産物卸売業 (百万円)	不動産賃貸業 (百万円)	水産物その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	104,089	225	8,634	112,948	-	112,948
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,423	11	1,941	3,376	(3,376)	-
計	105,512	237	10,575	116,325	(3,376)	112,948
営業利益	117	92	70	280	-	280

~注略~

(訂正後)

前第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

科目	水産物卸売業 (百万円)	不動産賃貸業 (百万円)	水産物その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	38,168	74	2,826	41,068	-	41,068
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	631	3	708	1,344	(1,344)	-
計	38,800	78	3,534	42,413	(1,344)	41,068
営業利益	159	30	51	242	-	242

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

科目	水産物卸売業 (百万円)	不動産賃貸業 (百万円)	水産物その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	104,089	225	8,634	112,948	-	112,948
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,423	11	1,941	3,376	(3,376)	-
計	105,512	237	10,575	116,325	(3,376)	112,948
営業利益	67	92	70	230	-	230

~注略~

【セグメント情報】

(訂正前)

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	水産物卸売	不動産賃貸	水産物その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	101,034	205	10,605	111,845		111,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,784	13	1,784	3,581	3,581	
計	102,818	219	12,389	115,427	3,581	111,845
セグメント利益	39	72	72	184		184

~注略~

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	水産物卸売	不動産賃貸	水産物その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	37,588	64	3,732	41,385		41,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	584	4	582	1,171	1,171	
計	38,173	69	4,314	42,557	1,171	41,385
セグメント利益	192	21	51	265		265

~注略~

(訂正後)

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

	水産物卸売	不動産賃貸	水産物その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	101,034	205	10,605	111,845		111,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,784	13	1,784	3,581	3,581	
計	102,818	219	12,389	115,427	3,581	111,845
セグメント利益又は損失()	<u>28</u>	72	72	<u>115</u>		<u>115</u>

~注略~

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

	水産物卸売	不動産賃貸	水産物その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	37,588	64	3,732	41,385		41,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	584	4	582	1,171	1,171	
計	38,173	69	4,314	42,557	1,171	41,385
セグメント利益	<u>169</u>	21	51	<u>242</u>		<u>242</u>

~注略~

(1株当たり情報)

(訂正前)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 378.40 円	1株当たり純資産額 388.55 円

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 5.91 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額() 4.23 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失()(百万円)	186	133
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ()(百万円)	186	133
期中平均株式数(株)	31,502,921	31,498,969

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 4.63 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 6.94 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益(百万円)	146	218
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	146	218
期中平均株式数(株)	31,502,220	31,498,401

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額 369.53 円	1株当たり純資産額 380.48 円

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 4.97 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額() 5.03 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失()(百万円)	156	158
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ()(百万円)	156	158
期中平均株式数(株)	31,502,921	31,498,969

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 4.27 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 7.00 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
四半期純利益(百万円)	134	220
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	134	220
期中平均株式数(株)	31,502,220	31,498,401

【レビュー報告書】

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月18日

大都魚類株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員

業務執行社員

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

若尾 慎一 印

公認会計士

開内 啓行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大都魚類株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大都魚類株式会社及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。